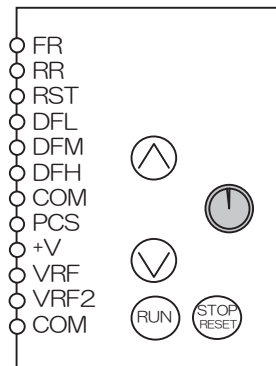


7. 応用運転したいとき

7. 1 運転周波数の設定方法

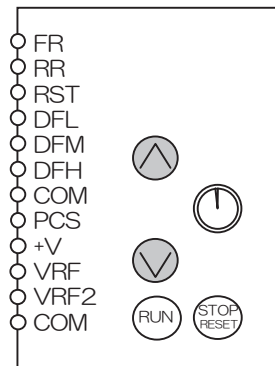
インバータの周波数設定を選択することにより応用運転ができます。この場合基本パラメータの周波数設定モード選択1 ($F A 0 d$)、拡張パラメータの周波数優先選択 ($F 2 0 0$)、および周波数設定モード選択2 ($F 2 0 7$) にて設定してください。

(1) 内蔵ボリューム設定



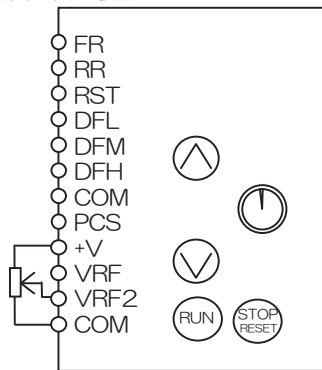
$F A 0 d : 0$
 $F 2 0 0 : 0$

(2) パネルキー設定



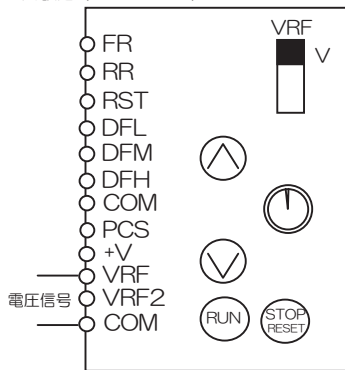
$F A 0 d : 3$
 $F 2 0 0 : 0$
パネルキーにて設定
STRで記憶(書込み)

(3) 外部ボリューム設定



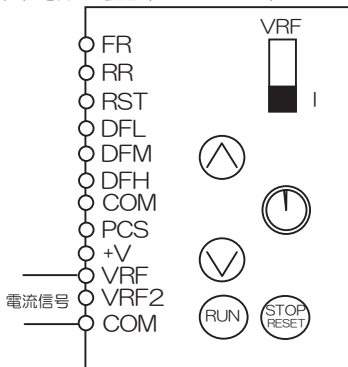
$F A 0 d : 2$
 $F 2 0 0 : 0$
 $F 2 1 0 \sim F 2 1 3$ で調整

(4) 電圧入力設定 (0~1.0Vdc)



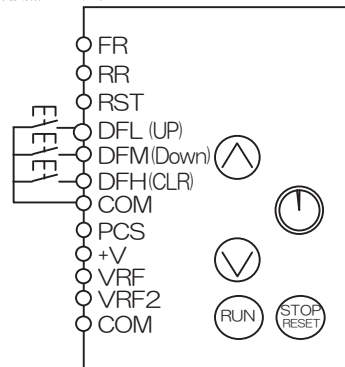
$F A 0 d : 1$
 $F 2 0 0 : 0$
 $F 2 0 1 \sim F 2 0 4$ で調整
 (VRF2 使用時は $F A 0 d = 2$)

(5) 電流入力設定 (4~2.0mA dc)



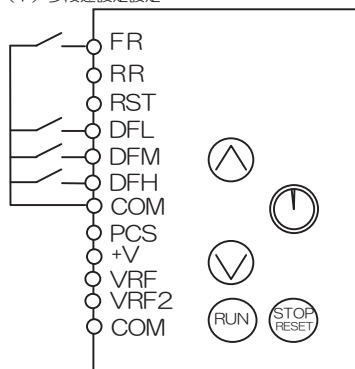
$F A 0 d : 1$
 $F 2 0 0 : 0$
 $F 2 0 1 \sim F 2 0 4$ で調整
 ($F 2 0 1 : 2.0\%$)

(6) 外部接点アッパタリ



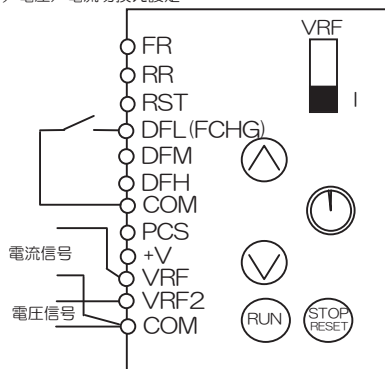
$F A 0 d : 5$ 、 $F 2 0 0 : 0$
 $F 2 6 4 \sim F 2 6 8$ で調整
 $F 2 6 9 : 1$ (電源OFF時に $F 2 6 8$ を書換える)
 $F 1 1 4 : 4 1$ (UPの割付け)
 $F 1 1 5 : 4 2$ (DOWNの割付け)
 $F 1 1 6 : 4 3$ (CLRの割付け)

(7) 多段速設定設定



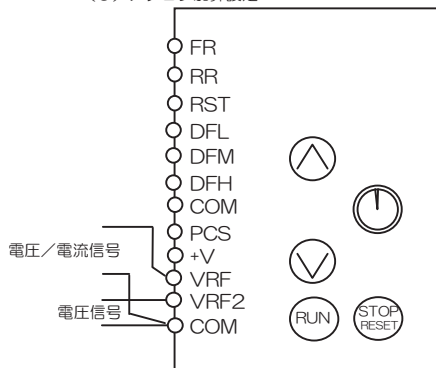
$F200d : 0$ (端子台)
 $Sr 1 \sim 5r 7 : 1 \sim 7$ 段速
 $F287 \sim F294 : 8 \sim 15$ 段速
 端子 DFL~DFH で 7 段速選択
 入力端子機能 DFHH 割付けで 15 段速選択

(8) 電圧/電流切換え設定



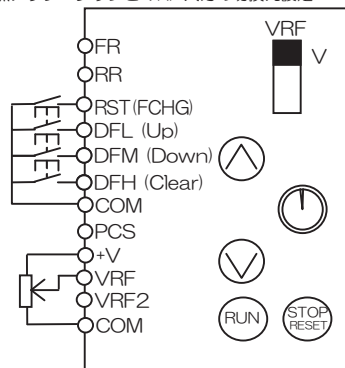
$F200 : 1$ (自動切換)
 $F200 : 0$ (FCHGの強制切換え)
 $F114 : 38$ (FCHGの割付け)
 $F200d : 2$
 $F207 : 1$

(9) アナログ加算設定



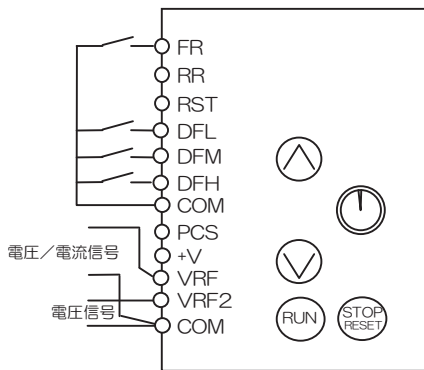
$F200d : 6$ (VRF+VRF2)
 $F200 : 0$

(10) 外部接点アップ・ダウンとVRF入力の切換え設定



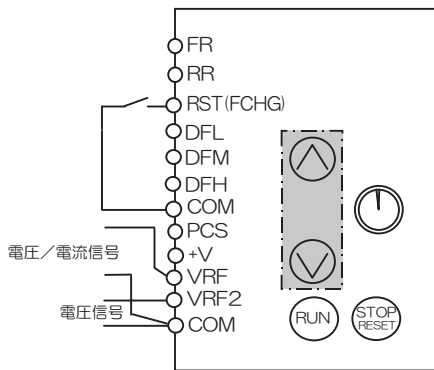
$F200d : 5, F200 : 0, F207 : 1$
 $F113 : 38$ (FCHGの割付け)
 FCHG入力でVRF設定に切換え
 $F114 : 41$ (UPの割付け)
 $F115 : 42$ (DOWNの割付け)
 $F116 : 43$ (CLRの割付け)

(11) アナログと多段速の切換え設定



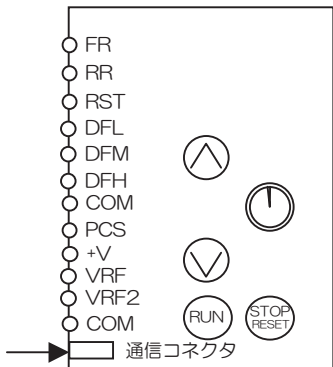
F00d : 1 (VRF) または 2 (VRF2)
C00d : 0 (端子台)
F200 : 0
 外部 DFL~ DFH 入力で 多段速設定に切換え

(12) パネルからアナログ/端子の切換え設定



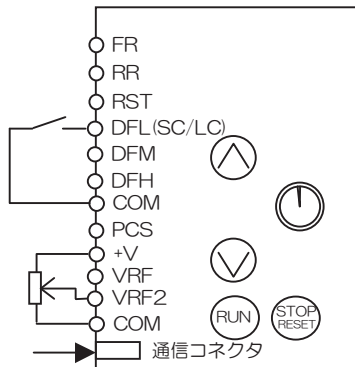
F00d : 3 (パネル)
F113 : 38 (FCHGの割付け)
 外部 FCHG 入力で *F207* 設定に切換え
F200 : 0
F207 : 1 (VRF) または 2 (VRF2)

(13) 通信による設定



通信コマンド fa00h 14bit : 1
 通信優先
 (*F00d* : 4)

(14) 通信からローカルの切換え設定

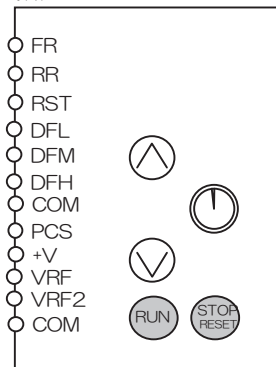


通信コマンド fa00h 14bit : 1
F114 : 48 (SC/LCの割付け)
 通信運転中に外部 SC/LC 入力でローカルに切
 換え
F00d、*F200* または *F207* の設定により動作

7.2 運転の設定方法

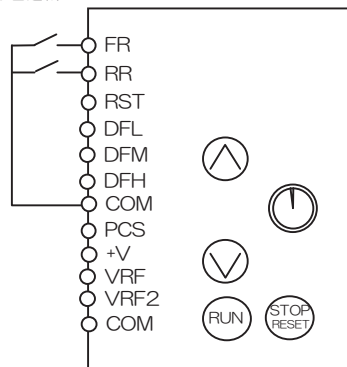
インバータの運転を選択することにより応用運転ができます。この場合基本パラメータのコマンドモード選択 [A0d]、入力端子選択にて設定してください。

(1) パネル操作



[A0d] : 1 (パネル)

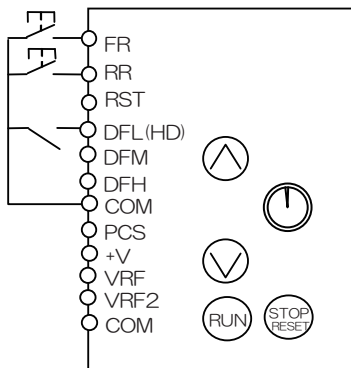
(2) 端子台運転



[A0d] : 0 (端子台)

(3) 3ワイヤ運転 (ワン・プッシュ運転)

ON/OFF の押しボタンだけで運転可能です。



注1) 3ワイヤ運転時は $F110=1$ (ST), $EN0d=0$ (端子台) に設定して下さい。

また、入力端子選択で、いずれかの入力端子にHD (運転保持) を割り付けてください。例えば、左図のようにS1 端子に割り付ける場合は、 $F114=49$ (運転保持) に設定して下さい。

注2) 電源を入れる前に、各端子を ON している場合、電源 ON 時には、端子入力は無視されます。(突然動き出すと危険なため。) 電源 ON 後に改めて、端子入力を ON して下さい。

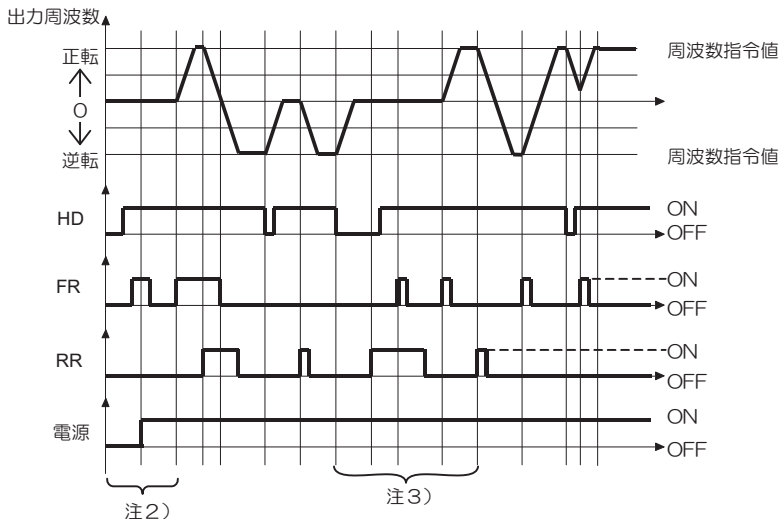
注3) HD が OFF 時に、FR または RR を ON しても、無視されます。RR が ON 時に HD を ON しても運転しません。その状態のまま、さらに、FR を ON しても運転しません。一旦、FR および RR を OFF してから、FR または RR を ON して下さい。

注4) 3ワイヤ運転中に、 γ オギツク 運転の指令をすると停止します。

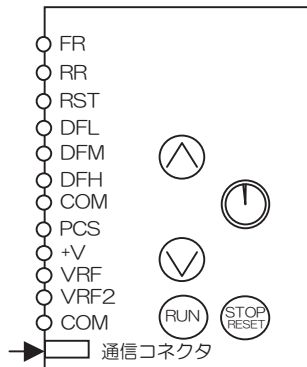
注5) 直流制動中に起動信号を入力しても、直流制動を継続しますので、ご注意ください。

入力端子選択でHD (運転保持) を選択

HD : ON でワン・プッシュ運転可能、OFF で停止

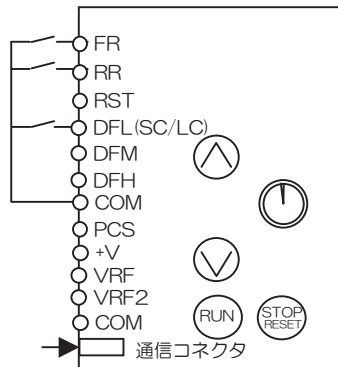


(4) 通信で運転



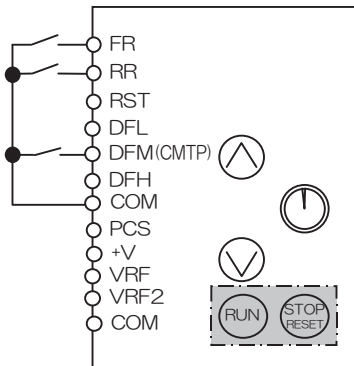
通信コマンド fa00h 15bit : 1
設定により通信優先

(5) 通信から端子台への切換え運転



END : 0 (端子台)
F114 : 48 (SC/LCの割付け)
通信コマンド fa00h 15bit : 1
設定にて通信運転中に外部 SC /
LC 入力でローカルに強制切換
端子台により動作

(6) パネル操作から端子台への切換え運転



END : 1
F115 : 50 (CMTPの割付け)
外部 CMTP 入力で端子台からの運転に切換え